

「色染物質会」第2回総会議事録

日時：平成23年11月12日（土） 15:00～16:30

会場：京都工芸繊維大学、工織会館、集会室

出席者：会員－36名、委任状－106通

議事内容： 進行：事務局 松岡謙一郎

議事に先立ち、故川畑会長のご冥福を祈り、全員で黙祷した。

1. 議長選出

松岡氏から	現在の会員数	187名	
	総会出席者	36名	
	委任状提出者	106名	の報告があり、

出席、委任状提出者合計は142名（会員の76%）となり、総会は成立した。
続いて、佐藤忠孝氏を議長に推薦し承認された。

2. 会長、副会長の選任

会長に佐藤忠孝氏、副会長に戸塚計浩氏を選任し、承認された。

3. 会長挨拶と新役員の紹介

会誌第1号でご挨拶をしておりますが、今年3月の川端会長の急逝に伴い会長代行を勤めて参りましたが、何とか設立後の最初の1年で計画の大半を消化出来ました。

第2期についてはHPの更なる充実、会誌に発行などと、メールを通じての会員とのコミュニケーションを計って行きたい。会員数も次第に増加し187名となりましたが、名簿の整備を進め増加を目指したい。

続いて、新任の幹事3名（高木恒男氏、犬伏康郎氏、梶原俊明氏）が紹介された。

4. 会則改定案（別紙）改定会則

事務局より、プロジェクターを使い、会則の一部変更案について説明した。

主な変更箇所 名誉職（名誉会長、名誉顧問の新設）

Q：物質工学科の会員勧誘について、どうなっているのか？

A：未だ実績なし、旧色染会から名簿等のデータを引き継いでいないため、未着手である。

Q：物質工学科の同窓会組織があれば、タイアップしたらどうか。

A：同窓会組織の有無は承知していない。

（参考）機織科「マコーン会」は機織科卒業生のみ、窯業科「鴻窯会」は学内教授の応援もあり、新卒者も入会している。

A：色染物質会発足時に勧誘したが、2名しか加入していない。まずは色染科卒業生を固めたい。

事務局 松岡から名簿整備、会員勧誘策について説明があった。

具体策推進に向けて小委員会を来年初に開催し、各年度の世話役を決める方法についてはノーアイデアであるが、小委員会の中で具体化する。

今後、新会員の勧誘に力を入れていくことを確認した。

会長より、新設名誉会長へ古川敏一氏の就任の報告があり、会則改定案を含め承認された。

5. 第一期決算報告（別紙）資料参照

事務局より、プロジェクターを使い、決算報告を行った。

Q：立派な会誌を発行されたことに驚き又感銘を受けている。この費用は？

A：印刷代等役所のものの利用等により、原価安であがっている。

後は役員の手間に頼っているのが現状。(郵送料も含めて約4万円程度)
監査報告を加藤監査役から行い、決算報告は承認された。

1. 第二期予算案提案 (別紙) 資料参照

事務局より、プロジェクターを使い、予算案を提案した。

Q: 会誌の発行時期は?

A: 今期と同様10月を予定している、予算の目処が付けば2回(4月、10月)の発行も検討する。寄稿はどしどし提出頂きたい。

予算案は承認された。

2. ホームページの現況と展望

担当者は坂東(管理責任者)、渡辺(ホームページ作成技術担当)で、維持管理をしている。記事の校正は戸塚、編集に松尾が加わっている。

HPの作成、維持管理を外注すると年間数十万円の費用が掛かるので、会員がボランティアでやっている。素人なので綺麗なものは出来ないが、「質実剛健のHP」で、必要な機能を満たせるよう努力しているのでご理解頂きたい。

HPを通じて、会員への情報提供、会員との交流を計りたいと考えている。

クラス会日より、会員からの寄稿に数多くの原稿が集まるよう、ご協力をお願いします。

Q: パスワードは?

A: 小文字で「matu」

3. 第二期事業計画抱負 佐藤会長

これまでの報告の補足として、会員集めについて各クラスの幹事、世話役を探しコンタクトする。又個人のレポートや、趣味の会なども利用できたらと考えている。

マコーン会の様にニックネームをつけた方が良いのではないかと考えるので、近々ご提案を募るので協力を頂きたい。

また、卒業生名簿の整理と新会員の勧誘に力を入れる計画である。

A: 会員の卒業年度別分布図について説明。(別紙) 資料参照

4. 出席者との応答

Q: 学長、名誉会長の懇親会へのご出席は?

A: 学長は急な東京出張で欠席されるが、古川名誉会長は出席される。

Q: 会員の拡張について、既存の会を取り込んだらどうか。(例 鼎会)

Q: 利用できることはしたらいいが、内容を熟考すべきと思う。

また、各年度の幹事、代表者リストがあった筈なので利用したらと思う。

A: それぞれのご意見、検討させていただく。

萩原氏: 大学の工芸資料館に貴重な歴史的な資料が多く展示されている。その中で現在『染を語る』というテーマで資料を展示しているので来館鑑賞頂きたい。又このホームページもあるので是非閲覧して欲しい。

西川氏: 今年の会誌発行は非常によかった。これからの色染物質会は技術等の発表も重要である。巾を広げて、後輩が続く同窓会に育てて行かなければならない。

8. 閉会の辞 戸塚副会長

皆さんの言われているように、会員を増やしていかなければならない。いろいろな機会での皆さんのご協力をお願いします。

他に、ホームページへの投稿、数は多いが投稿者の数が少ない。多くの方からの枠に囚われない自由な投稿をお願いします。

以上

「色染物質会」第2回総会・懇親会

日時：平成23年11月12日（土） 17：00～19：00

会場：京都工芸繊維大学、学生食堂 出席者：34名

萩原顧問の開会挨拶と乾杯で始まり、途中古川名誉会長から力強い激励のご挨拶を頂いた。先輩、後輩間の交流も活発で、和気藹々の内に2時間が過ぎ、戸塚副会長の閉会の辞で懇親会は終了した。

以上